

診療科	消化器外科	管理番号	
レジメン名称	DS療法 (C2~C7)		
対象疾患・ステージ・適応外の有無等	StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法		
本治療の位置づけ	StageⅢの治癒切除胃癌を対象とし、TS-1+Docetaxel併用療法のTS-1単独療法に対する術後補助化学療法としての優越性が示唆された		

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
						1日目	15日目	日目	日目	日目	日目	週目	週目	
治療内容	Rp 1	グラニセロンバック	100mL	30分	iv	●								
		デキサート	6.6mg											
	Rp 2	ドセタキセル	40mg/m ²	1h	iv	●								
		5%糖液	250mL											
	Rp 3	生食	50mL	15分	iv	●								
		S-1	体表面積次第	朝夕食後	内服	●	→	●						
						day1夕からday15朝(7コース目まで。以降28日間服用14日間休薬)								
						S-1投与量:体表面積1.25m ² 未満→40mg/回、1.25-1.5m ² →50mg/回、1.5m ² 以上→60mg/回								
						胃がんadjuvant chemotherapy DS療法投与スケジュール Cycle 1 : S-1 内服のみ 2投1休 Cycle 2~Cycle 7 : S-1+DTX 2投1休 Cycle 8~Cycle 12 : S-1 内服のみ 4投2休								
総投与時間	1.75時間													
血管外漏出時のリスク	DTX: 起壊死性抗がん剤													
(備考) 調製時・投与時の注意点など	<p>ドセタキセルは、ポリソルベート80含有製剤であり、重篤な過敏症の発生する恐れがある。特に本剤の初回及び第2回目の投与時は、観察を十分に行うこと。過敏症状は本剤の投与開始から数分以内に起こることがあるので、本剤投与開始後1時間は頻回にバイタルサイン(血圧、脈拍数等)のモニタリングを行うなど、患者の状態を十分に観察する。</p> <p>1コースはTS-1を朝食後・夕食後に14日間連日投与し、その後7日間休薬する。2コースよりDocetaxel 40mg/m²を3週に1回(Day1)、TS-1を朝食後・夕食後に14日間連日投与し、その後7日間休薬する。このTS-1+Docetaxelを1コースとし、2コースより7コースまで計6コース(18週間)投与する。8コース以降は、TS-1を朝食後・夕食後に原則として28日間連日投与し、その後14日間休薬する。これを1コースとし、手術1年後まで繰り返す。なお、各コースは28日を超えての連日投与は行わない。手術後1年間経過した後は新たなコースに入らない。</p>													

1サイクル期間	7コース目まで3週間 以降6週間
総コース数	手術後1年間(12サイクル)